

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 222 号	氏名	坂本 淳哉
学位審査委員	主査	小路 武彦	
	副査	進藤 裕幸	
	副査	下川 功	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、足関節不動ラットモデルに於いて、不動による関節軟骨の退行性変化誘導の原因として低酸素状態の関与と持続他動運動(CPM)によるそれらの改善効果を検討することを目的としており、研究目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 12 週齢 Wistar 系雄ラットを用いて、適切な対照群と共に足関節不動ラットモデルを作成し、麻酔下で CPM 装置により底背屈運動を与え、その後両側の足関節試料を固定・脱灰しパラフィン包埋した。その右側試料から関節軟骨層の厚さ及び血管様構造の出現を定量的に解析し、左側試料にて HIF-1α、VEGF、ChM-I の発現を免疫組織化学的に解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 以上の検討の結果、関節不動に伴う退行性変化が低酸素状態に暴露されることによる種々の因子の発現変動によることを見い出し、また CPM による退行性変化の抑制が滑液の関節軟骨への浸透促進効果によることを示唆した点、これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は不動による関節軟骨の退行性変化の原因の理解に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			